



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 住友ベークライト株式会社
 コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 経理企画本部経理部長 (氏名) 山口 晋
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 03-5462-4111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	141,477	3.9	6,119	0.0	6,906	0.8	4,515	40.3
25年3月期第3四半期	136,227	△3.6	6,118	14.5	6,848	7.3	3,218	△16.0

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 18,083百万円 (318.7%) 25年3月期第3四半期 4,318百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.74	—
25年3月期第3四半期	13.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	236,311	146,977	61.6
25年3月期	213,826	131,311	60.8

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 145,492百万円 25年3月期 130,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	9.1	10,000	25.7	10,600	24.0	6,400	85.9	26.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	262,952,394 株	25年3月期	262,952,394 株
26年3月期3Q	22,059,728 株	25年3月期	22,042,713 株
26年3月期3Q	240,902,587 株	25年3月期3Q	240,915,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では住宅市況や個人消費の改善などにより景気回復が緩やかに進みましたが、欧州では持ち直しの兆しを見せながらも金融問題の影響などから低調で、中国などの新興国においても減速感が見られるなど、全体としては低い成長にとどまりました。日本経済は、アベノミクスへの期待や2020年オリンピック開催決定などから、円安や雇用情勢の改善、個人消費の動きが見られ、回復基調で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においては、パソコンやデジタル家電が依然低調であり、スマートフォンやタブレット端末も新興国でローエンド機種を中心に販売を大きく伸ばしたものの、ハイエンド機種は需要が一巡したため減速傾向にあり、全体的に伸び悩みました。自動車においては、北米や中国は堅調に推移し、欧州も持ち直しがみられ、国内はエコカー補助金終了に伴う反動減から脱して需要は緩やかな回復傾向で推移しました。国内の住宅着工件数は、復興需要や消費税増税前の駆け込み需要などがあり堅調でした。

当社グループはこのような経営環境の中、身の丈経営の実践によりスリム化した企業体質を維持しながら、次の方針を掲げて新たな成長に向け総合力を結集して取り組んでまいりました。

- ①国内既存事業の再生、ビジネスモデルの転換
- ②新規事業立ち上げ、創生
- ③海外事業の収益力強化、規模拡大

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,414億77百万円と、フレキシブル・プリント回路事業からの撤退などがありましたが、円安による為替換算の影響などもあり、前年同期比で3.9%、52億50百万円の増収となりました。

損益につきましては、主力の半導体関連材料や高機能プラスチックの販売数量が前年同期水準に及ばなかったものの、円安効果や固定費削減でカバーし、連結営業利益は前年同期並みの1百万円増、61億19百万円となり、連結経常利益は、前年同期比で0.8%増の69億6百万円となりました。連結純利益は、特別損失の減少などにより、前年同期比で40.3%増の45億15百万円となりました。

セグメント別販売状況（対前年同期比較）

①半導体関連材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料および半導体用液状樹脂は、パソコンやデジタル家電などの最終需要で引き続き厳しい状況が続いておりますが、中国など成長市場での拡販に加え、円安による売上押し上げ効果もあり、売上高は増加しました。

半導体パッケージ基板材料の「LαZ®」は、顧客での生産調整や新規立上げ遅れなどの影響を大きく受けたことにより売上高が減少しました。なお、宇都宮事業所内に新設した第二工場はコスト競争力の向上とともに、新たな需要拡大に対応すべく量産化に向けた体制強化に努めております。

②高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂および成形品は、日本国内および北米、中国市場の自動車用途が堅調で、欧州のタイヤ用途など一部製品が落ち込みましたが、原料価格上昇分の売価は正や円安効果もあり、売上高は増加しました。

エポキシ樹脂銅張積層板およびフェノール樹脂銅張積層板は、自動車分野が堅調で、薄型テレビ等のAV機器や白物家電向けの需要低迷がありましたでしたが、売上高は増加しました。

③クオリティオブライフ関連製品

医療機器製品は、「オルフィス CV キット®」や「クリオドレーンバック®」などの新製品が実績化しましたが、期初の落ち込みを挽回するに至らず、売上高は減少しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途が堅調で、従来の新薬向けに加え、ジェネリック医薬品向けが伸長し、売上高は増加しました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品は、前年の異常気象影響による修理特需の反動で、売上高は減少しました。

メラミン樹脂化粧板・不燃板のデコラ製品は、不燃の薄物メラミン化粧シート「デコライノベア®」が徐々に実績化し始めており、製品特性を訴求した積極的なマーケティング活動を継続し、更なる拡販を進めております。

防水関連製品は、復興需要や消費税増税前の駆け込み需要もあって新規住宅やリフォームが引き続き好調を維持しており、売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ224億85百万円増加し、2,363億11百万円となりました。

これは主に、投資有価証券が68億41百万円、有形固定資産が62億21百万円、現金及び預金が35億95百万円増加したことによるものであります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ68億19百万円増加し、893億34百万円となりました。

これは主に、流動負債その他が21億4百万円減少した一方で、コマーシャル・ペーパーを70億円増額したことおよび繰延税金負債が21億99百万円増加したことによるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ156億66百万円増加し、1,469億77百万円となりました。

これは主に、配当金の支払24億9百万円があった一方で、為替換算調整勘定が95億5百万円、その他有価証券評価差額金が39億93百万円増加したことおよび四半期純利益を45億15百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に公表いたしました業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,056	35,651
受取手形及び売掛金	40,673	44,465
商品及び製品	10,950	11,856
半製品	3,107	3,373
仕掛品	559	735
原材料及び貯蔵品	10,459	10,725
その他	7,140	7,414
貸倒引当金	△70	△58
流動資産合計	104,877	114,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,774	30,243
機械装置及び運搬具(純額)	27,254	28,941
その他(純額)	23,257	27,322
有形固定資産合計	80,286	86,507
無形固定資産		
のれん	4,557	4,519
その他	1,523	1,523
無形固定資産合計	6,080	6,042
投資その他の資産	22,582	29,598
固定資産合計	108,949	122,148
資産合計	213,826	236,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,649	30,629
短期借入金	9,853	10,268
コマーシャル・ペーパー	12,000	19,000
未払法人税等	813	737
賞与引当金	2,558	1,264
事業再建費用引当金	207	16
その他	12,953	10,849
流動負債合計	67,035	72,766
固定負債		
長期借入金	7,700	7,250
退職給付引当金	5,399	4,774
その他の引当金	177	124
負ののれん	52	13
その他	2,149	4,406
固定負債合計	15,479	16,568
負債合計	82,515	89,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	79,085	81,191
自己株式	△11,932	△11,938
株主資本合計	139,654	141,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,226	8,219
為替換算調整勘定	△12,672	△3,167
在外子会社の退職給付債務調整額	△1,163	△1,313
その他の包括利益累計額合計	△9,609	3,738
少数株主持分	1,266	1,484
純資産合計	131,311	146,977
負債純資産合計	213,826	236,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	136,227	141,477
売上原価	97,371	102,721
売上総利益	38,855	38,755
販売費及び一般管理費	32,737	32,636
営業利益	6,118	6,119
営業外収益		
受取利息	82	100
受取配当金	343	367
負ののれん償却額	143	39
持分法による投資利益	13	68
為替差益	368	465
雑収入	264	196
営業外収益合計	1,216	1,237
営業外費用		
支払利息	238	209
雑損失	247	241
営業外費用合計	486	450
経常利益	6,848	6,906
特別利益		
固定資産売却益	593	4
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	58	40
退職給付引当金戻入額	113	—
その他	—	1
特別利益合計	766	51
特別損失		
固定資産除売却損	678	298
投資有価証券評価損	163	1
事業再建関連費用	74	8
減損損失	593	30
環境対策費	413	—
その他	89	58
特別損失合計	2,012	398
税金等調整前四半期純利益	5,602	6,558
法人税、住民税及び事業税	1,531	1,300
法人税等調整額	691	676
法人税等合計	2,223	1,976
少数株主損益調整前四半期純利益	3,379	4,581
少数株主利益	161	66
四半期純利益	3,218	4,515

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,379	4,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	524	3,992
為替換算調整勘定	79	9,673
在外子会社の退職給付債務調整額	344	△150
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△14
その他の包括利益合計	939	13,501
四半期包括利益	4,318	18,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,122	17,863
少数株主に係る四半期包括利益	196	220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,344	51,825	47,472	133,642	2,584	136,227	—	136,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	133	28	162	—	162	△162	—
計	34,344	51,959	47,501	133,805	2,584	136,389	△162	136,227
セグメント利益	3,145	2,723	3,198	9,067	44	9,111	△2,993	6,118

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸およびフレキシブル・プリント回路事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,993百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,995百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,945	58,131	47,876	140,952	524	141,477	—	141,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	0	300	—	300	△300	—
計	34,945	58,431	47,876	141,253	524	141,777	△300	141,477
セグメント利益又は 損失(△)	3,853	2,725	2,397	8,976	△27	8,949	△2,830	6,119

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,830百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,821百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更しております。

- ・「回路製品」を廃止し、同セグメントに含まれていたフェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板等を「高機能プラスチック」に移管いたしました。また、同セグメントに含まれていたフレキシブル・プリント回路は、前連結会計年度において事業から撤退したことにより、「その他」に含めております。
- ・「半導体関連材料」に含まれていた半導体実装用キャリアテープ等は、「クオリティオブライフ関連製品」に移管いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウェハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・不燃板、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。